

ドライバーの技術力が
なによりの営業力
「九州安芸で重機を運ぶと運べない」と
といわれる信頼を獲得

課題

九州安芸重機運輸株式会社
代表取締役

菅 弘信

suga hironobu

profile
1933年生まれ。広島県出身。ゼネコン勤務などを
経て、68年、九州安芸重機運輸を設立。07年1月で
74歳。

設立の1968年当時は、建設機械のリース業が主だった。競争も少なく「いい時代だった」(菅弘信社長)が、第二次オイルショックを機に、リース業をスバツと撤退し、建設重機の運送業に専念した。「大量の建設機械を抱えるのは大変だし、これからは競合会社も増える。それならば運ぶだけでもかなりの仕事になる」という判断が理事に当たり、以降、重機運輸一筋で業界を重なる。

「うちの最大の営業は、ドライバーの力です。重機運搬の経験が豊富で、その伝統と技術はどこにも負けません。みんなまじめで、重機を大切にしています。だから、顧客から信頼を得ることができています」。

顧客は、ゼネコン、元同業のリース会社や大手の建設機械メーカー。難しい仕事になればなるほど「九州安芸に任せれば安心」「九州安芸でなければ運べない」と、全国の大規模メーカーからも仕事の依頼が入るといふ。

この数年の建設不況で業績は横ばいだったが、06年は少し上向いた。アジア向けの中古建機輸出が増え、この分野での受注増などが貢献した。社長の側で一緒に写真に納まっているのが、

息子の菅康紀氏(42歳)。現在は取締役部長として運送業務部門を取り仕切っている。「長い社長を譲ってもらっていますが、今は財務面を私が見るようになっています」と弘信社長。07年1月で74歳になるが、毎朝5時半から40分の散歩を欠かさず、しかもこれまで無遅刻無欠勤。この健康体が、パトナタッチを先送りさせているのかも？